

第6次杉戸町総合振興計画 第4次実施計画
事務事業評価【外部評価】報告書



令和7年9月

杉戸町総合振興審議会

— 目 次 —

1	はじめに	1
2	事務事業評価（外部評価）について	2
	（１）事務事業評価（外部評価）とは	2
	（２）外部評価の流れ	2
	（３）評価の項目	2
	（４）外部評価結果の活用	3
3	外部評価を実施した事業	3
4	評価結果	4
	（１）子育て支援センター運営管理事業	4
	（２）生涯スポーツ推進事業	9
5	おわりに	14
	杉戸町総合振興審議会委員名簿	15

1 はじめに

第6次杉戸町総合振興計画が、令和3年度からスタートし4年が経過した。

町では、計画に掲げられた未来像の実現のため、財政計画との整合性を図りながら目標達成に必要な事業の実施計画を作成し、計画的かつ効率的な行財政運営を推進している。

計画の推進にあたっては、未来像実現のための信頼される行政運営や限られた財源の有効活用等を目指し、計画に掲げられた各事業について、内部評価及び町長評価を行うとともに、「開かれた行政」、「町民への説明責任」、「更なる効果的・効率的な事業の実施」を目指し、杉戸町総合振興審議会委員による行政評価（外部評価）を実施しているところである。

杉戸町総合振興審議会では、実施された事業や内部評価に対して住民の視点による客観的な評価を行い、その意見を町の施策に反映させていくことで、協働のまちづくりを推進していくことができると考える。

そのため、この評価結果については、町長をはじめ町職員の全員が真摯に受け止め、行政サービスの向上に不断の努力を払うとともに、各種計画の推進及び予算編成等に反映していくよう要望するものである。

杉戸町総合振興審議会
会長 菊地 信一

2 事務事業評価（外部評価）について

（１）事務事業評価（外部評価）とは

事務事業評価（外部評価）とは、事業の成果を行政内部のみではなく、広く公開して、住民への説明責任を果たすとともに、その意見を取り入れ、今後の行政運営の参考とする仕組みであり、住民の視点に立った、目的及び成果を重視する行政運営を目指すために実施するものである。

○ 計画 — 実施 — 評価 — 改善 のマネジメントサイクルの確立

PLAN（計画）
⇒ DO（実施）
⇒ CHECK（評価）
⇒ ACTION（改善）

（２）外部評価の流れ

① 第１次評価（内部評価－担当課長）

各担当課が所管する事業について、担当課が評価をする。

② 第２次評価（内部評価－町長）

第１次評価結果（担当課長評価）について、実施計画の進行管理を担当する総合政策課が集計した後、町長が評価をする。

③ 第３次評価（外部評価）

行政評価に住民の意見を反映するため、外部評価として、杉戸町総合振興審議会委員により、第６次杉戸町総合振興計画に掲げられた各事務事業の中から事業を選定し、評価をする。

（３）評価の項目

事業の評価	評価の視点	評価項目
① 事業の有効性	主要施策の推進に対して、効果が出ているか。	1. 有効性が高い 2. 一定の有効性がある 3. 有効性に疑問がある 4. 有効性が低い
② 事業の効率性	事業費に対して、効果が得られているか。	1. 効率性が高い 2. 一定の効率性がある 3. 効率性に疑問がある 4. 効率性が低い
③ 事業の妥当性	手段（事業範囲や規模等）は適正か。	1. 妥当性が高い 2. 一定の妥当性がある 3. 妥当性に疑問がある 4. 妥当性が低い
総合評価	1. 順調である 2. おおむね順調である 3. 改善の必要がある	

(4) 外部評価結果の活用

評価結果については、町長へ報告し、次年度以降の予算編成並びに施策・事務事業の選択及び重点化などに活用するとともに、杉戸町総合振興計画の進行管理及び見直し等に活用することを要望する。

3 外部評価を実施した事業

外部評価は、第4次実施計画に掲げた全ての事業（106事業）の中から、外部の視点で事業の方向性を議論することが有意義と考えられる事業について、2事業を選定し、事業の評価をした。

主要施策	評価対象事業	担当課	頁
2 地域ぐるみで子育てができる環境づくり	13 子育て支援センター運営管理事業	子育て支援課	4
11 多様なスポーツ活動の普及促進	36 生涯スポーツ推進事業	社会教育課	9

4 評価結果

(1) 子育て支援センター運営管理事業

ア 評価対象事業の概要

事業名	子育て支援センター運営管理事業
所管課	子育て支援課
事業概要	乳幼児及びその保護者が相互交流を行う場所として杉戸子育て支援センター、泉子育て支援センター、地域子育て支援センター「ポラーノ広場」を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。
事業効果	子育てに関する相談及び助言、交流と遊びの会の実施、子育てに関する情報提供により、親の孤独感や不安感の解消を図る。また、子育てサークルやボランティアの育成などの支援につながる。
事業計画	○子育て支援センター運営管理 ○子育てひろば、子育て講座、誕生会等の実施 ○子育てに関する相談、子育て情報の提供 ○関係機関との連携 ○一時預かり事業の実施（杉戸子育て支援センター）
	35,374 千円（令和6年度当初予算額）
事業実績	○子育て支援センター運営管理 ・年間来館者数 34,461 人 （内訳：杉戸 25,091 人、泉 6,528 人、ポラーノ 2,842 人） ○子育てひろば、子育て講座、誕生会等の実施 ・子育てひろば 73 回（杉戸 37 回、泉 36 回） - お楽しみ会その他イベント 54 回（杉戸 20 回、泉 34 回） ・子育て講座 38 回（杉戸 17 回、泉 21 回） ○子育てに関する相談、子育て情報の提供、関係機関との連携 ・相談件数 211 件（杉戸 171 件、泉 40 件） - 保健師相談会（杉戸 5 回） ・ほめる子育て講座 全 4 回 （こども家庭センター共催 参加者延べ 21 名、補講 7 名） ○一時預かり事業の実施（杉戸のみ） ・一時預かり保育利用者 226 人
	43,033 千円（令和6年度決算額）
関連する成果指標（KPI）	子育て支援センター利用者満足度 85.5%（令和6年度末実績）／ 80.0%（令和7年度末目標）

イ 内部評価

① 担当課評価【第1次評価】

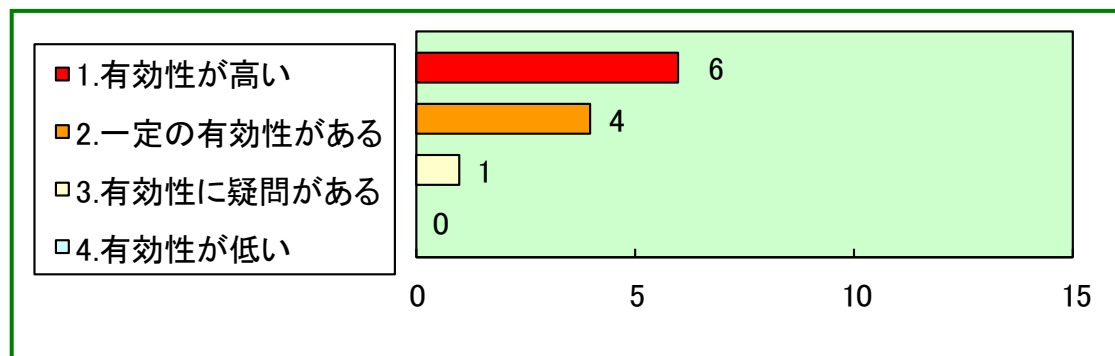
事業 の 評 価	評価項目		コメント
	有効性	1. 有効性が高い	子育て家庭のコミュニティの場を提供することをはじめ、情報提供や各施設の地域性、特性を活かした運営を行った。また、オープンと同時に、一時預かり保育事業を開始し、仕事や急な用事だけではなく、育児疲れやリフレッシュなどでも利用ができるので、利用者からも好評を得ている。
	効率性	1. 効率性が高い	「ココティすぎと」複合施設2階には、杉戸子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター、こども家庭センターも併設されている。そのため、子育て支援に係る相談業務等をそれぞれの部署と連携を図りながら、効率的かつ効果的なサポート・支援をすることができていると考える。
	妥当性	1. 妥当性が高い	杉戸子育て支援センターは「中央・南地区」、泉子育て支援センターは「東・泉地区」、地域子育て支援センター「ポラーノ広場」は「西地区」に配置されていることから、概ね町内全体を網羅していると考ええる。
	総合評価	1. 順調である	令和6年4月に「ココティすぎと」複合施設2階に杉戸子育て支援センターがオープンしたことで、子育て家庭における支援センターへの関心度が高まっている。来館者数も増加し、未就園親子だけではなく、小・中学生においては、放課後の子ども達の居場所にもなっている。

② 町長評価【第2次評価】

事業 の 評 価	評価項目		コメント
	総合評価	1. 順調である	成果指標である「子育て支援センター利用者満足度」が目標を上回っており、実施内容の効果が現れていると評価できる。 子育て支援センターが相談や交流の場として、気軽に利用できるよう今後も取り組んでいくこと。

ウ 外部評価 【第3次評価】

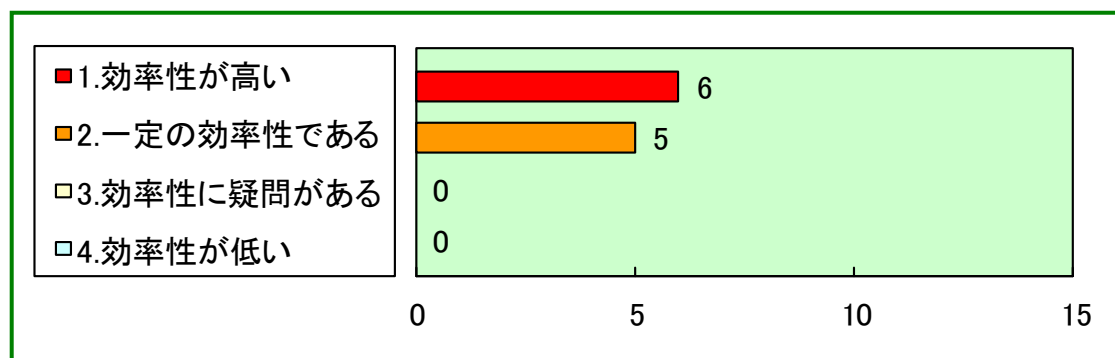
① 事業の有効性



委員からのコメント

- 施設のリニューアル効果もあり、来館者数も大幅に伸長している。事業内容も充実しており、ハードソフトとも利用者にとって有益なものであると思う。
- 主要施策である「地域ぐるみで子育てができる環境づくり」を推進しており、一定の有効性があると判断する。
- 杉戸子育て支援センターにおいての取組や来館者数の増加はすばらしい。さらに他事業との連携を図って欲しい。
- 事業が浸透し、今後さらに利用者が増えると思う。
- 利用者の満足度も高く、好評を得ており良好である。

② 事業の効率性

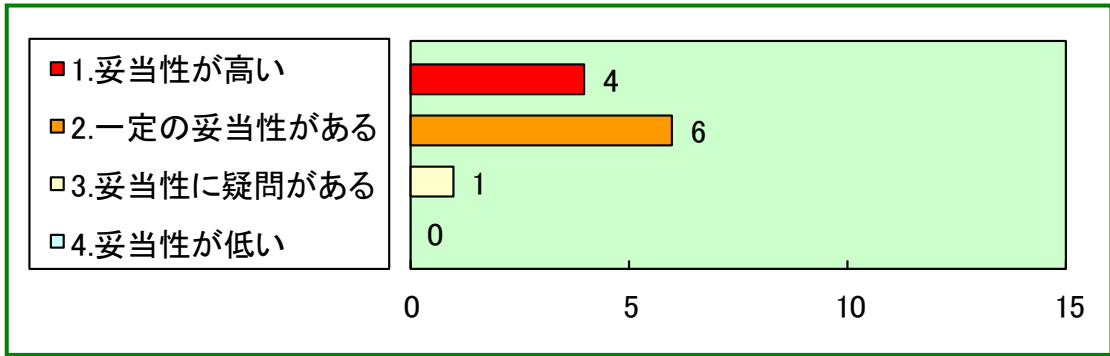


委員からのコメント

- 核となる施設には、各種機能が集約されており、子育てに関するサポートがワンストップで対応できるようになっている。
- 突発的なこどもの病気等で、頼る人がいなかったり、仕事が休めなかったりする親にとっては、大変効率のよいことだと思う。
- ココティすぎとの運営等を考える上で、一定の効率性を保っているものと判断する。さらに効率性を高めて欲しい。

- オープンから1年半程度なので、もう少し様子を見たい。
- 関係部署と連携が取れており、良好である。

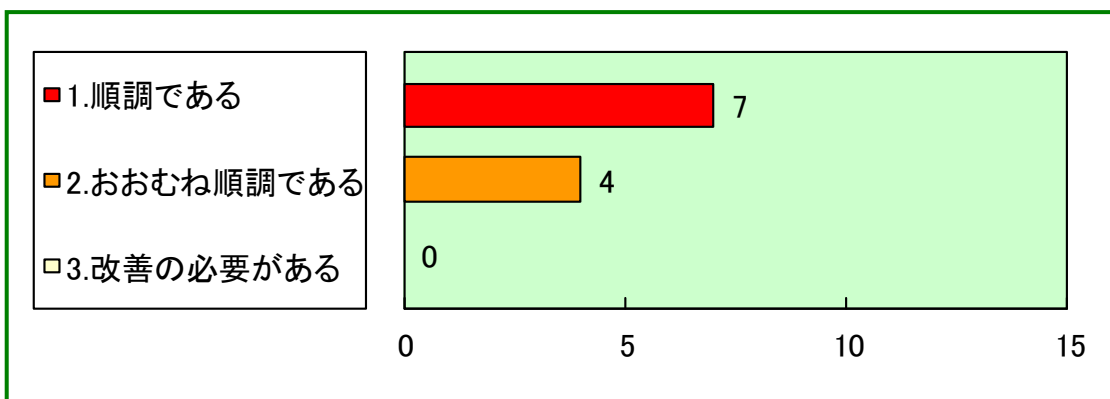
③ 事業の妥当性



委員からのコメント

- 子育て支援センターは、人口集積地区を中心として、町内に満遍なくサービスを提供できる配置となっている。
- 利用者数は確かなものだろうが、それがリピーターによる回数なのか、数字上に表れていないので、妥当性が高いとは言えない。
- 子育て支援センター利用者満足度の目標が達成されているため、一定の妥当性がある。さらに妥当性を高めてもらいたい。
- 子育て支援センターを町内全体に網羅しているとあるが、施設の規模に差がありすぎる。
- 子育て支援センターは、町内を全体的に網羅しており、良好である。

④ 総合評価



委員からのコメント

- こどもに何かあっても、ここに預ければ安心、両親とも仕事に行けるという環境、こどもにとっても良い場所があるという所をつくっていただきたい。
- ココティすぎとを中心とした子育て支援事業がより充実したものになることを

期待したい。また、質疑でも出たように「駐車場問題」の早期解決が望まれる。

- 働く母親が増加していることを踏まえると、子育てに関する相談を仕事が休みの日や祝日もできると、より活用しやすいと思う。（遊戯室も同様）
- こども食堂等の企画（既存の団体と連携して）があると、本当に支援が必要な人が助かると思います。
- 子育て中は、とても孤独感が強く、とても不安なので、子育て支援センターを利用できることは、とても気持ちが救われると思う。私も子育て中は、たくさん救われた。たくさんのママ友と知り合うことができた。一時預かり事業は、とても助かると思う。
- 杉戸町の子育て支援は、これからの杉戸町のアピールポイントになると思う。
- ココティすぎとの駐車場の拡大を望む。
- 今後も高い満足度を維持できるように工夫をお願いします。ぜひ応援していきたい事業である。
- ココティすぎとに各センターを併設したことで、子育て世代へのサポート体制の充実が進められていると感じる。既に行っているとは思いますが、さらなる充実のために利用者の声は勿論、参加者の動向等を分析して対策を立て、たくさんの方が喜んで利用できる、やさしい環境づくりを目指していただきたい。また、駐車場が狭くて参加できないとの声もあるので、その対策は急務であると思う。
- 子育て支援事業は、個々に状況が違っていたり、親及び家族も含めた背景などが関係する場合もあり、対応にあたる皆さんの労力は大変だと思うが、次の世代を担う子どもたちのために、力を尽くしていただきたい。

(2) 生涯スポーツ推進事業
ア 評価対象事業の概要

事業名	生涯スポーツ推進事業
所管課	社会教育課
事業概要	社会体育関係団体の育成、各種スポーツイベント・健康づくり事業による生涯スポーツを推進する。 また、社会体育施設の設備充実と利便性向上、学校体育施設の開放による活動場所を提供する。
事業効果	町民の健康と体力の向上のほか、生涯スポーツを通じた地域コミュニティづくりを推進することができる。
事業計画	○スポーツイベント、新春マラソン大会、県民総合スポーツ大会、レクリエーションスポーツフェア、地域創生に向けた各種スポーツイベントの開催 ○社会体育施設や学校体育施設の開放、維持管理 ○社会体育団体に対する補助（杉戸町スポーツ協会、杉戸町スポーツ少年団） ○高校体育館等の一般開放の可能性調査及び柔剣道場の必要性調査 16,556 千円（令和6年度当初予算額）
事業実績	○スポーツイベント等 ・スポーツフェスティバル 約4,000 人来場（19 ブース設営） ・新春マラソン大会 1,360 人エントリー（1,210 人完走） ・レクリエーションスポーツフェア（高野台桜まつり同時開催） ・その他、モルック大会やサッカー大会等開催 ○施設維持管理 ・南テニスコート（クレーコート整備、オムニコート補修修繕、トイレ修繕） ・学校開放事業のための体育館清掃、学校開放調整会議 ・社会体育施設維持管理（トイレ汲み取り、建物保険、除草作業） ○補助 ・スポーツ協会、スポーツ少年団、マラソン大会への補助及び運営 15,056 千円（令和6年度決算額）
関連する成果指標（KPI）	週1回以上スポーツする人の割合 37.1%（令和6年度末実績）／ 45.0%（令和7年度末目標） 体育施設利用件数 20,044 件（令和6年度末実績）／ 26,702 件（令和7年度末目標）

イ 内部評価

① 担当課評価【第1次評価】

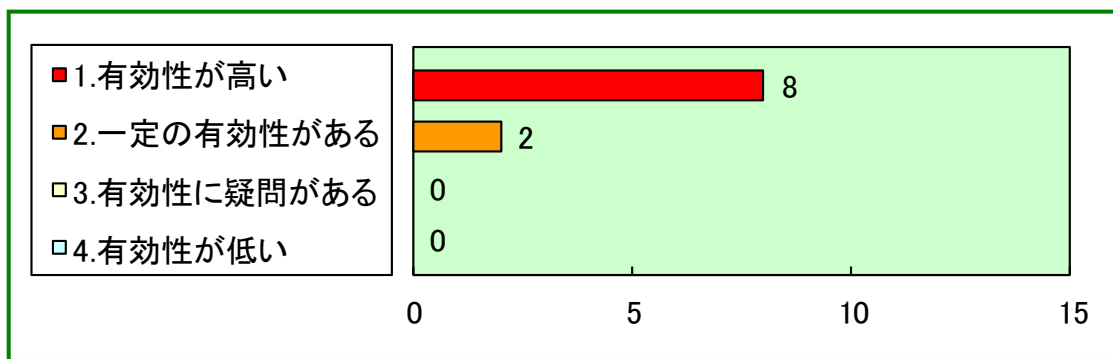
事業の 評価	評価項目		コメント
	有効性	1. 有効性が高い	人々の活動がコロナ禍以前に戻り、また健康志向の高まりにより、スポーツ活動をする人が増加となった。また、希薄になった人と人との交流が増え、賑わいが創出できるほか、人々が健康になることで、社会保障費の軽減にも非常に有効であると考えられるため。
	効率性	2. 一定の効率性がある	スポーツ施設の老朽化は著しく、修繕や改修の必要性が増し、また、物価高騰や人件費の増額など、事業費の高コスト化は否めない。 しかし、スポーツ活動が人々の心身ケアに必要な要素であるため、費用対効果という視点で考えると、一定の効果であったと評価できるため。
	妥当性	2. 一定の妥当性がある	事業規模等については見直す必要があるが、イベント等に参加される方々からは高評価をいただいている状況である。一方で、施設維持に費用がかかっている現状から、受益者負担の原則に立ち返り、特に、無料開放している施設利用は有料化していく必要があると考えられるため。
	総合評価	2. おおむね順調である	スポーツ活動を行う人々が増加傾向にあることや各種イベント参加者から高評価をいただいていること、また、リピーターも多くいることから、非常に有効な事業である。これにより、町民が今よりも健康になることは、他分野に対し、好影響をもたらし、相乗効果が図れる。 一方で、施設の維持管理には多くの費用を要し、逼迫した財政状況の中、事業や施設を維持するためには、受益者負担は必要不可欠である。 今後においても、町民の皆様がよりスポーツに親しみやすくなるようなイベント実施を目指すとともに、町の財政状況、近隣自治体の動向等を踏まえ、施設維持手法などについて調査研究していくことが必要である。

② 町長評価【第2次評価】

事業の評価	評価項目		コメント
	総合評価	2. おおむね順調である	成果指標である「週1回以上スポーツする人の割合」は目標を未達成であるが、基準値（平成30年度：35.6%）より向上しており、事業効果が現れていると評価できる。 今後の町のスポーツ活動の普及促進に効果があるため、継続して取り組んでいくこと。

ウ 外部評価【第3次評価】

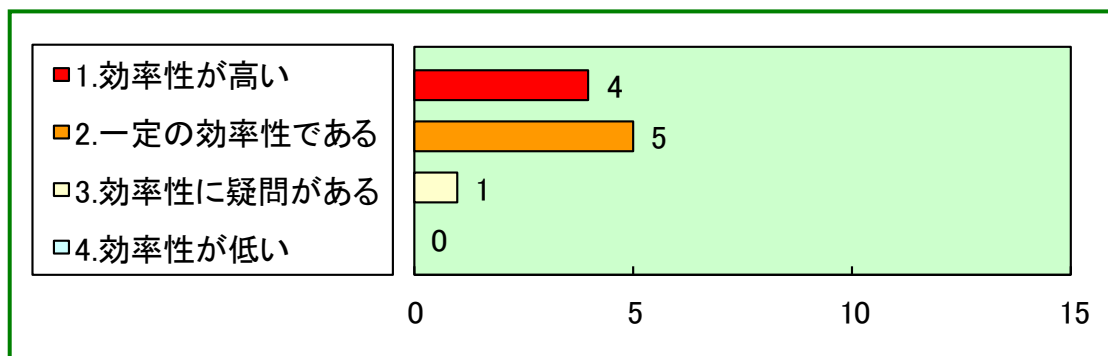
① 事業の有効性



委員からのコメント

- スポーツフェスティバルが定着し、多くの人が参加できるものになってきている。
- 様々なスポーツ活動の開催により、活動人口が増加しており、多世代の交流や健康増進に役立っている。
- 多様なスポーツ活動の普及促進をねらいとしていることは理解できる。ただし、実施の有効性については、今後の判断が必要となる。
- 町民参加のキッカケになっており、良好である。
- 健康維持の面でもよいと思う。

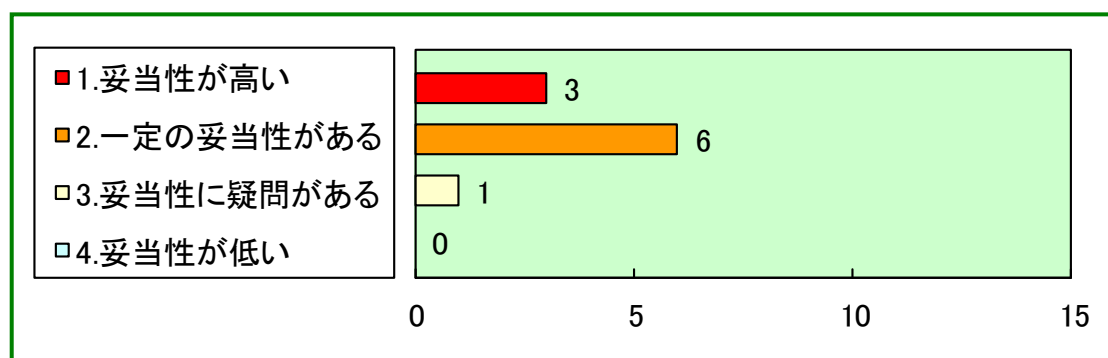
② 事業の効率性



委員からのコメント

- 新春マラソン大会では、地元の人達が給水やサポートで活動し、参加者のみならず、地域の活性化につながっている。
- スポーツは心身のケアにとっても有効であり、人とのコミュニケーションの役割も担っているので、効率性は高いと思う。
- 現状の予算内でできることは限られると思うが、その中でも可能なことを実施していると思う。無料開放施設の有料化等も含め、収支改善による施設の充実を図るとよいと思う。
- スポーツ施設の老朽化が問題となっているが、それに伴う予算額は著しく低い。そのため、効率性には疑問がある。
- 高コスト化に対応しており、良好である。
- ボランティアなどをエントリーしてもらうとよい。

③ 事業の妥当性

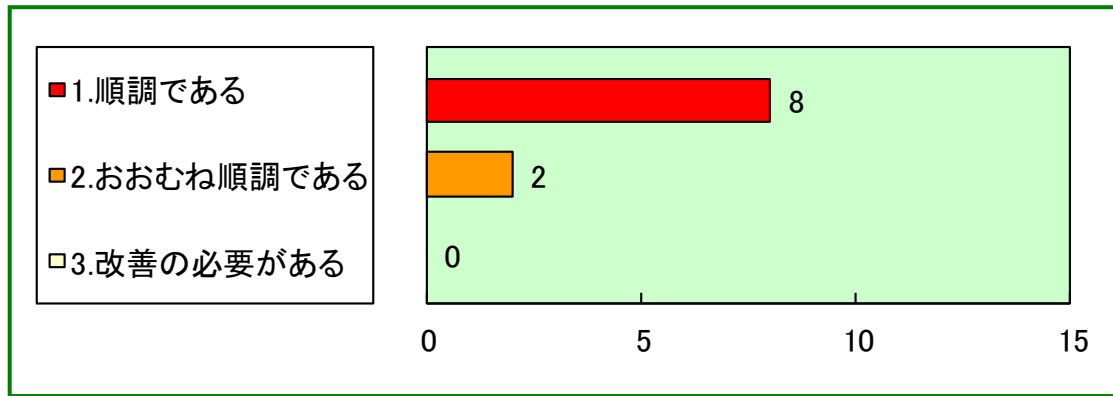


委員からのコメント

- イベントに参加する人々は、リピーターが多いと思う。もう少し裾野が広がって、多くの地区から参加者が出てくればよいと思う。
- 各種イベントの開催などの努力の跡は伺えるが、質疑応答でも出たように改善点は多数ある。

- リピーターも多く、高評価を得ていることから良好である。
- 巡回バスで気軽に行けるようなイベントがあるとよい。

④ 総合評価



委員からのコメント

- 生涯スポーツの大切さ、有用性は今後も町にとって重要であり、イベント等の工夫をさらに進めて欲しい。
- こどもが小さい時に、親子マラソンなどに参加した、大切な思い出である。誰もが気軽に参加できるので、とてもありがたい。アットホームな新春マラソン大会は、杉戸町のアピールポイントになると思う。
- 何よりも早急に施設の老朽化問題に取り組む必要がある。また、生涯スポーツと名をつけている以上、さらに高齢者の参加を促すことが肝要である。
- 料金の受益者負担は必要だと思う。
- 参加者としても本事業を応援している。
- 新春マラソン大会のメイン会場を変更するのは難しいが、町内の魅力ある場所はたくさんあるので、そういった場所を走るのも楽しいと思う。
- 職員による除草・清掃等での経費削減は、本来の職員の仕事に支障をきたし、決して妥当だとは思えない。職員の犠牲の上に成り立つのではなく、受益者負担の原則に立ち返り、その上で施設の充実を図っていくべきだと思う。
- 全町を対象としたイベント企画は、会場選定、設営、天候対策など様々な点で大変だと思う。スポーツ少年団や行政区または自治会などの各種団体を運営にかかわってもらうことなども考えてみてはよいのではないか。役場職員の皆さんが企画調整を行い、運営を住民が行う様な仕組みができたらよいと思う。

5 おわりに

町では、第6次杉戸町総合振興計画に掲げられた町の将来像である「みんなで育てるまち すぎと」に向け、第4次実施計画に掲げた様々な事務事業を実施してきたところであるが、昨年度に引き続き、杉戸町総合振興審議会において、そのうちの2事業について評価を行った。

外部評価を行うにあたり、事業を実施した担当課から直接説明を受け、質疑を行うことで、単に成果を確認することに留まらず、担当課の考え方や現状、課題なども聞くことができ、事業の妥当性や今後の展望などを踏まえて、客観的な評価を行うことができた。

今回、外部評価を実施したのは、子育て支援を図る事業や町民のスポーツ振興促進する事業であり、魅力ある町づくりに欠かせないものであるため、今回の評価結果を真摯に受け止め、今後の事業に対し有効に活用し、さらに進展していくことを期待する。

結びに、この報告書の内容については、第6次実施計画の策定や、令和8年度予算編成に活用していくとともに、今後の杉戸町発展の一助となれば幸いである。

杉戸町総合振興審議会委員名簿

1号委員（関係団体等を代表する者）7名

（敬称略）

No	氏 名	備考
1	木村 三樹男	
2	松村 美知子	
3	板橋 昇	職務代理者
4	鈴木 豊	
5	宮野尾 政子	
6	横井 正樹	
7	谷藤 恵美	

2号委員（識見を有する者）5名

No	氏 名	備考
8	水野 順子	
9	中里 圭介	
10	佐々木 誠	
11	菊地 信一	会長
12	青木 恵理	

3号委員（まちづくりに関心の高い者）3名 （公募）

No	氏 名	備考
13	新井 晃	
14	茂利 浩幸	
15	斉藤 智章	